

# 教育環境の整備を行います

子どもにとって最良の教育環境を提供するために  
幼児施設（幼稚園・保育園・児童園）の再編と  
小学校・中学校の再編を10年の期間で進めます。

○羽出庭つくし児童園を平成19年3月末で閉園

○小野新町小学校雁股田分校を平成20年4月から本校統合

2月16日町臨時議会で可決されました。

小野町教育委員会では、少子化が進み、子どもが減少している現実の中で、子育て支援を最優先施策におき、子どもにとって最良の教育環境を提供するために、町の教育環境（小・中学校、幼稚園、保育園、児童園の教育施設）のありかたについて、基本方針を定めました。

この基本方針に基づき、小野新町小学校雁股田分校と羽出庭つくし児童園については、児童数、園児数が減少していることから、早期に再編を図る必要があり、当該地域の皆さんと話し合いを行ってまいりました。

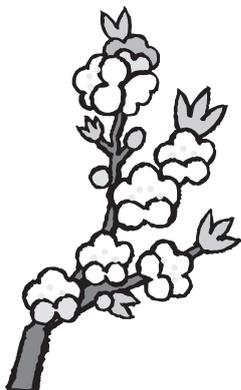
この結果、保護者等地域の関係者の皆さんに同意をいただいたことから、去る2月16日開催の小野町議会第1回臨時会に小野新町小学校雁股田分校の本校統合と羽出庭つくし児童園の閉園の議案を提案し、満場一致で可決されたものです。

これにより、小野新町小学校雁股田分校は、平成20年度から本校へ統合し、羽

出庭つくし児童園については、平成19年3月末日で閉園することが決定しました。

小野町教育委員会では、この基本方針により、各教育施設のそれぞれの保護者等の関係者の皆さんに説明を行い、話し合いを重ねて教育環境の再編を進めていく考えです。

なお、この「基本方針」のあらましは以下のとおりです。



## 教育環境整備の 基本方針のあらまし

(はじめに)

少子化社会が急速に進行しています。子どもの数が減少している現実の中で、子育て支援の施策を最優先に実施していく必要があります。

そこで、健全な社会を構築する心豊かでたくましく生きる力を持つ人間を育成する教育を基本理念（後述4頁に記載）として、子どもに最良の教育環境を提供するために、小野町の小・中学校そして幼稚園、保育園及び児童園の整備をこの基本方針により進めます。

### 1 幼児教育施設に関すること

#### (1) 新たな総合施設の整備について

幼児教育・保育を一元的に提供できる幼保連携施設として新たな総合施設を建設整備します。

この新たな総合施設は、小学校就学前教育の充実と保育に対する多様な需要に対応する子育て支援の総合的な提供を行う「幼保連携施設」とします。

この施設の建設整備は、平成21年度完了を目標とします。

子育て支援の充実を図り、子どもを生み育てやすい環境を提供するために、施設の利用料等については、出来る限り保護者負担の軽減を図ります。

幼保一元化に向けて、小野わかば幼稚園・中央さくら保育園合同運動会（平成18年9月）



#### (2) 幼稚園、保育園及び児童園の統合について

総合施設の建設整備に合わせ、現行の幼稚園、保育園及び児童園を統合します。総合施設は、平成22年度から開設運営を目標とします。

(ア) 幼児教育施設は、平成21年度までに統合に必要な諸条件の整備を行います。

(イ) 羽出庭つくし児童園は、園児数が大幅に減少しているため、平成19年3月で廃止して、当該地区幼児の保育等については、他の町立施設において行う方針です。

(ウ) 夏井おおすぎ保育園は、子育て支援センターを併設しており、当分の間、現状の運営を継続します。